

2021年10月28日

各位

会社名 オムロン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 山田 義仁
 コード番号 6645
 上場取引所 東証第一部
 問合せ先 IR部長 奥村 俊次
 T E L 03-6718-3421

剰余金の配当（中間配当）の決定および年間・期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日（2021年10月28日）開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）および2022年3月期の年間・期末配当予想の修正について下記のとおり決議しましたので、お知らせします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の決定の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年4月27日公表)	前期実績 (2021年3月期中間配当)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	46円00銭	—	42円00銭
配当金の総額	9,312百万円	—	8,502百万円
効力発生日	2021年12月2日	—	2020年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 年間・期末配当予想の修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2021年4月27日発表)	—	—	86円00銭
今回修正予想	—	46円00銭	92円00銭
当期実績 (2022年3月期)	46円00銭	—	—
前期実績 (2021年3月期)	42円00銭	42円00銭	84円00銭

3. 理由

当期の株主還元方針は、2017～2020年度の中期経営計画（呼称VG2.0）期間において適用した株主還元方針を踏襲し、「企業価値の持続的な向上を目指し、将来の成長に必要な研究開発、設備投資、M&Aなどの投資を優先し、そのための内部留保を確保したうえで、資本効率を勘案し、継続的に株主の皆さまへの還元の充実を図っていく」としています。また、「毎年の配当金については、連結業績ならびに配当性向、さらに株主資本利益率（ROE）と配当性向を乗じた株主資本配当率（DOE）を基準とし、安定的、継続的な株主還元の充実を図る」としています。

上記の方針と通期業績予想の修正（詳細は、本日公表しました「2022年3月期第2四半期決算短信〔米国基準〕（連結）」の添付資料5ページ「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください）を勘案し、2022年3月期の年間配当予想は、前回発表予想の86円から上方修正し、92円（前期より8円の増配）としました。また、2022年3月期の中間配当および期末配当予想は、それぞれ年間配当予想の半額の46円（ともに前期より4円の増配）としました。

以上